

幼児教育学科

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

自然と生命を尊重し、知性と感性を磨き、幼児教育・保育を通して地域社会に貢献できる、人間性豊かな人を育成することを目的として、次に掲げる力と姿勢を身につけた者に、短期大学士の学位を授与する。

1. 幼児教育学・保育学の知識と技能をしっかりと習得している。
2. コミュニケーション能力があり、周囲の人と協調することができる。
3. 子どもを取り巻く環境や問題を理解し、自ら課題を見つけ取り組むことができる。
4. 自然と生命を大切にする心を持ち、それを子どもに伝えることができる。
5. 自分を生き生きと表現し、他者の表現を受け入れることができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与に必要な知識や能力を習得するために、教育課程を大きく「教養教育科目」と「専門教育科目」に分けて編成・実施している。

その中で、以下の学力をしっかりと身につけることができるように、学びの道筋の中に各教科が配置されている。

1. 教育・保育の専門知識と技能を身につける。
2. 幼児教育・保育の理解を深めるため、他者と対話を重ねながら主体的に学ぶ。
3. 社会人としての自分の将来を考え、学びに向かう意欲と力をつける。
4. 環境や生命の重要性を学ぶ。
5. 造形表現や身体表現、音楽表現を基礎として表現力を身につけ、自分の得意分野を伸ばす。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

幼児教育学科では、次のような人の入学を期待している。

1. 入学後の学習に必要な基礎学力をもっている人。
2. 基本的マナーが身についている人。
3. 自分の考えを的確に伝えることができ、他者の考えを受け入れることのできる、基礎的コミュニケーション能力のある人。

4. 保育者を目指す意思が強く、学習意欲の高い人。
5. 好奇心が旺盛で、自分の感性を大切に人。

学習成果

幼児教育学科の学習成果は、建学の理念である「愛され信頼される女性」を体現し、人間性豊かな保育者として成長することである。

具体的には、保育者としての幅広い専門知識を学び、実践で活用できる技能を身につけるとともに、柔軟な思考力と豊かな表現力、他者を尊重し協調できるコミュニケーション力、社会人としての責任感やマナーを身につけることである。

学習成果の査定は、各教科内での作品制作やグループワーク等の取り組みなどの評価、定期試験の成績評価、各実習先からの評価、幼稚園教諭二種免許及び保育士資格の取得状況並びに免許・資格を活かした専門就職率等の外的評価等によって行う。

所定の単位を取得した者には、短期大学士（幼児教育）の学位とともに、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格が授与される。